

かるがもだより



暑かた夏も終わり、又長い寒い日々がやってきました。インフルエンザの予防接種どうしょうかと、お悩みの方、病院によって多額の金額の差があるのをご存知でしょうか。
よく調べてから受ける方が良いと思います。
子どもが風邪などひいてグネグネしていると親もストレスがたまります。
ストレスと言うと、皆様は、ストレスを発散する為に、何をしているかな？少しでも子どもと離れた方が良いと思っている人、買物をいっしょにする、おいしいものを食べる等、色々あると思いますが、催し物に参加してみるの、いかがでしょうか。
「おじいちゃん選と楽しいクッキング」をやる紹介から

「カレーライス作り」

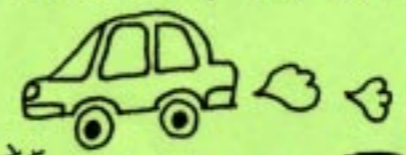
～おじいちゃん選との交流会～
10月31日(火) 10:00～12:00
町民センター 調理室 材料費として大人のみ1,500円

お料理するのは、主に「おじいちゃん選」なので小さい子どもがいても大丈夫！包丁や火も使うけど大勢で子どものめんどうをみるのは危いとはありません。おじいちゃん選と料理を通して話をし、子どもでもできる事をちょっと手伝わせてもらったり、子どもと遊んでもらったり……。いつもとは、少し世代の違う方選に遊んでもらうの、刺激になるかもしれません。

連絡先
役場民生課 大西栄養 2-1212
富武士 和田美千代 2-3991
参加申し込み **10月26日(木)**まで
大勢の参加待ってます。
次回12/27は、もちつきです！

「お便り紹介」

暑い夏も終わり、一転してお天気も日々重なるごとに寒くなってきた、風邪が流行る季節へと変わってきていますが、子育てしている家庭では、どう過ごすでしょうか？我が家では、ビタミンCを毎日欠かさず摂るように心がけ、手洗いを忘れずにと心がけています。
私は、佐呂間町に嫁いで早くも5年が過ぎ、二人の子供にも恵まれ、家事と育児に追われながらも楽しい毎日を送っています。子供は、現在4才と1才8ヶ月の女の子がいて家の中は、いつも賑やかです。二人ともお出かけするのが大好きなので、親子ともどもストレスをためないためにも、最近では、ホアールのばかりの北見サティヘッドドライブがてら買物へ行ったりと日々生活しています。子供が幼い時期に親と一緒に楽しく過ごす事を幸せに思う今日この頃でした。



村中李衣の再び読みあいふれあい育ちあい in サロマ

村中李衣さんによる絵本にかかわるお話です。全然カマクなく、絶対楽しいからどうか聴きに來て下さい。
11月22日(水) 7:00pm～ 抽選あり
町民センター 2F 研修室 入場料 500円
※チケットのお申し込み・お問い合わせは、
真如智子(期日) 2-8440 尾崎仁美(宮前) 2-2444 図書館 保坂 佳寿美まで

「知る」ことは「感じる」ことの半分も～
重要ではない

5.29 青田正徳講演会より

私塾で絵本屋さんと経営する青田さん。佐呂間での講演は、昨年につぎ2回目ですが、今回も絵本をいっぱい読んでくれました。

絵本の絵と文を同時に体験する方法はたまた、誰かに読んでもらうこと…。決して、子どもが字が読めないから読んであげるのではないのです。

素朴でやさしい口調から、どんなにその本が好きか、青田さんの熱い思いが溢れ出て、私たちもそんな絵本の世界に引き込まれた様なひとときでした。

講演のビデオがあります。ぜひ見て下さい。お問い合わせは、三田真美 (2-1027)まで

《おすすめの本》

- ◎ アッパパイをつくりましょ
- ◎ リょうもいつしよにしちやいましょ
- ◎ カボチャありがとう ◎ ちびゴリラのちびちび
- ◎ きつねのおきやくさま ◎ ナヌーフの贈りもの
- ◎ ス・ホーの白い馬 ◎ はなのすきなうし
- ◎ センス・オブ・ワンダー
- ◎ だいいじょうぶ だいいじょうぶ
- ◎ ちいさい おうち



お便り、図書館にあります。

野口良行さんの講演から

10月6日、子どもは、愛と自由によつて花開く(絵本の読み聞かせは愛をそそぐこと)のテーマのもと野口さんの講演会が開かれました。元小学校教諭の野口さんは、30年以上絵本を取り入れた教育を行ってきた方です。絵本の読み聞かせによつて親子関係が深まるとともに、子どもの心を知るきっかけにもなるということ、きちんと言葉で伝えることができれば暴力で心の中を出そうとする事もなくなると言う事を、今、社会を賑わしている17歳の事件などを例にあげながら語って下さいました。穏やかで、ゆったりした語り口調にユーモアをまじえながらのお話は、2時間という時間がとても短く感じられました。大人もかつては、もろくて弱い子どもであった。

野口さんのこの言葉は、まさに、目から鱗がポロッと落ちる思いでした。また、良い絵本の選び方も実際に読み聞かせをしながら紹介して下さいました。

図書館で講演会のビデオを貸し出しています。ぜひ、ご覧になって下さい。



編集者より

先日、臨床心理士の市川啓子さんの講演がありました。心の教育とは、というテーマで、幼児期の心のケアが何より大切というお話をしていました。成長期(小・中・高)に起こるイジメ、不登校など色々な問題が、幼児期のとりまく環境によつて異なる事があるということをお母さん、親として認識していく必要があると思いました。それには、まず小さなうちから色々な人と接触させて多くの環境の変化を体験させる事が子どもにとって学習していく力になると思います。子どもも親も外に出て経験することが、これから先やってくる困難を乗り越え乗り越える人に育ていく事が出来る一歩だと感じました。

詳しい事は、図書館のビデオをご覧下さい。

発行は「かるがもネットワーク」(3月7日ネットワーク)
連絡先 三田真美 2-1027



～野口良行先生の教育観～

はぐくみ、いやし、ほほえみを

子どもは失敗するものだ
それを責めたり叱ったりせず
失敗の原因を話して聞かせ
頭や肩をなでながら考えさせる
手を握りしめ、体をだき寄せて
励ましの言葉をかける

子どもを大声で怒鳴ったりしない
感情的な最初の一言を飲み込んで
ちょっと間を置いて
静かにゆっくりと話して聞かせる
くどくどとした説教がましいことを言わず
同じ過ちをくりかえさないように
何度でも聞かせる

子どもを叩いたり殴ったりしない
体罰は主体性と思考を奪い
暴力は物事の善悪の判断力を失わせる
暴力は服従する人間を生み出し
暴力はより強い形にエスカレートする
平手打ち、げんこつ、パンチ、
殴り飛ばし、け飛ばし、投げ飛ばし
体罰を受けた子どもは必ず
自分より弱いものに暴力を振るう